



とびっくラン:川田



ありがとう屋代線:綿内

## H28年度 若穂人の心得3視点

若穂住民自治協議会会長 綿内 剛美

### 視点3 《品格のある若穂づくり》

◎目的達成のために次の4点を心掛けてみませんか。

- (1) 明るいあいさつ、気さくな声掛け(人の和と絆づくり)
- (2) 自分のゴミは自分で始末(環境整備)
- (3) 交通ルール、マナーの遵守(事故防止)
- (4) 人前での喫煙厳禁(健康づくり)

まちづくりは、道路や施設などのハードだけではありませんね。あいさつや、ルールといったソフト面もコミュニティでの大切な要素。品格ある若穂、つくれます！

## 子や孫たちのためにも、「くるる」を買って「乗って残そう」若穂の路線バス

～～ 若穂自治協が、独自に2つの利用促進策を実施へ ～～

- ① 3000円のICカード「くるる」(預託金500円+乗車料金分2500円)購入に1500円助成します。
- ② 若穂から路線バスで通う「通学定期券」の、購入費の10%を補助します。



### ① の、「くるる」(3000円:無記名)の購入は？

- 9月に、区を通じて、申し込みを受け付けます。ただし、1世帯につき1枚のみ。(注:助成は今回申し込まれた場合だけに限る平成28年度限定事業。「おでかけパスポート」の購入は対象外)
- 「くるる」は自治協が一括購入し、区を通じて配布します。自己負担分の1500円はこの時お支払いください。
- 乗車料金は1000円単位で何度も入金(チャージ)できます。(「くるる」取扱い窓口の他、バス車内の運転手さんでもOK)

【「くるる」詳細・お問い合わせ】

インターネット ⇒ <http://www.ic-kururu.jp/>

くるるカードセンター ⇒ トイーゴSBC棟2階 (☎232-0966)

### ② の、「通学定期券」の10%補助は？

- 平成28年10月1日から31年3月31日の間に「通学定期券」を購入した、若穂に居住する保護者に補助します。(補助は平成28～30年度限定事業)

—裏面に続く—

便利で、お得な「くるる」



「小銭の用意もいりません」し「幾ら？」と気にする必要もありません。バスの入口で、出口で、「くるる」を読み取り機にピ！それでOKです。利用に応じてポイント加算(料金の5～25%)され、1000ポイント単位で乗車料金に還元(1ポイント1円)することができます。

今回は3000円カードを1500円で！一家に最低1枚は「くるる」を購入いただき、みんなが年に何回か利用することで存続につながります。

● 対象となる児童・生徒等は

小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校・高等専門学校(1～3年)・専修学校(高等課程)に通学

● 対象となるバス路線は

「綿内屋島線」「屋代須坂線」「大豆島保科温泉線」の区間

● 補助の申請は毎年

- ・購入した日が4月1日～9月30日の定期券 ⇒ 10月中旬に
- ・購入した日が10月1日～翌年3月31日の定期券 ⇒ 4月中旬に自治協事務局で受け付けます。

● 申請は「申請書兼領収書」(自治協に用意・PCダウンロードも可)に、購入時に発行される「定期券発行証明書」を添付してください。



(学生の利用が多い綿内駅)

◇ 今年10月1日以降の購入から補助対象となりますが、来年3月31日までに購入した定期券は4月の申請となります。購入毎の、全部の証明書が必要となりますので、発行証明書を大切に保管してください。詳細はあらためてお伝えしますが、申請は来年4月ですからかなり先。とにかく発行証明書をなくさないように！

7月最終土曜日は、若穂恒例の「ふれあい踊り」

猛暑の中で 今年も元気に ソレソ～レ！



(六文銭の真田氏も登場)



(猛暑で好評のミストシャワー)

安協若穂支部から報告

平成28年度長野交通安全協会定期総会におきまして「柵スワイク長野営業所様」と「(有)日東建宅様」が交通安全功労団体として表彰されました。おめでとうございます。(安藤博康若穂支部長)

New! 10月23日は「わかほ福祉まつり」

社会福祉部会の構成団体を中心に、実行委員会が、これまで3地区ごとのバザーを集約するなど斬新な企画で初の「福祉まつり」を開催します。

バス利用者のアンケート

「保科温泉線」は、この4月から「大豆島保科温泉線」としてルート変更や減便で継続運行。他の2路線を含めて、利用者の声を聞くため「わかほ塾」(戸井田孝雄代表)が7月に綿内駅、川田駅を中心にアンケート調査を実施しました。(回収数49)

Q4 「大豆島保科温泉線」利用の方にお聞きします。

回答 (現在の感想)

| 利用しやすくなった | 不便だがやむをえない | 利用しにくくなった | 合計 |
|-----------|------------|-----------|----|
| 2         | 6          | 5         | 13 |



生の声として、「須坂屋代の乗り換えができない」「時間のよきにきてください」

「目的地まで時間がかかりすぎる」「大豆島東団地を経由するため時間がかかる」「あんまり色んな所を回り過ぎる」「時間がかかり過ぎる。長野駅まで1時間もかかる」「忙しい朝のダイヤで東団地で時間調整したり、団地を一周するルート設定になっていて時間のムダが多すぎる」が寄せられました。



『若穂音頭』はご存知？ 若穂町が誕生(昭和34年・1959年)してまもなくの頃、町民の心をひとつにするためにつくられました。今でも綿内小学校の運動会で児童が踊ります。この音頭は綿内の中沢呉竹さん作詞です。ソノシート盤30枚を希望者にお分けします(無料)【問】自治協事務局まで